

さいたま来ぶらり通信



さいたま市
2007年
12月15日発行
第5号

◆CONTENTS◆

わがまちSai発見
…2~3

さいたま市ゆかりの文学者と
描かれたさいたま(近現代編)

としょかん
探偵事務所 …4

さいたま市図書館
いろいろランキング

ちょっと足をのばして
～類縁機関紹介…5

鉄道博物館

ハロー! 来ぶらり …6

大宮西部図書館

図書館入門 …6

障害のある方への
サービス

自動貸出&返却機を設置



広々とした空間

電子資料も充実しています

平成19年11月29日(木)、JR浦和駅東口前に、さいたま市立中央図書館が開館しました。延床面積は約5800㎡、県内公共図書館最大級。ゆったりとしたスペースの中に、暮らしに身近な実用書から、小説や子ども向けの本、調査研究に役立つ専門書まで様々な資料を取り揃え、皆様をお待ちしています。

Q 広くて本を探すのが大変そう…
A 広いフロアを、資料の種類によって8つのゾーンに色分けしました。参考図書は黄色、地域・行政資料は青色、と、柱や書架の色を目印に探すことができます。また館内4ヶ所の案内カウンターにいる職員が、本を探すお手伝いをしますので、何でもお気軽にお尋ねください。

中央図書館オープン!

充実した資料と設備

開館時の蔵書冊数は約25万冊。今後も充実を図っていきます。また、約50万冊が収蔵できる自動書庫も設置し、さいたま市図書館全体の書庫として、体系的・効率的に資料を保存しています。資料を活用する環境の整備にも気を配り、館内には、市民の皆様の書齋としてご利用いただけるよう、読書や調べ物に便利な閲覧席を豊富に揃えました。

Q 仕事が終わるのが遅くて、図書館に行く時間がない…

A 中央図書館は、平日は午後9時まで、土・日・祝日は朝も9時から開館していますので、ご都合に合わせてご利用いただけます。

課題解決に役立つ情報センター

中央図書館は、楽しみとしての読書をサポートするだけでなく、ビジネス支援や子育て支援など、各種支援サービスを行います。また、様々な課題の解決に役立つ資料や情報を提供する「地域の情報センター」としての機能を果たすため、調査研究をサポートするレファレンスサービスに力を入れていきます。

Q 中央図書館にはどんなコーナーがあるの?

A 支援コーナー(ビジネス・国際交流・市民活動など)や

実用書コーナー(家事・住まい・園芸・旅行)に、テーマに沿った資料を使いやすくまとめました。インターネットやデータベースを使って新聞記事や学情情報などの調査ができるコーナーもあります。

さいたま市の顔となる図書館をめざして…

中央図書館はまだ開館したばかり。みなさまのご要望やご意見をいただきながら、歩み成長していただく図書館です。買い物や仕事の帰りに気軽に寄れる地域の図書館であるとともに、22の図書館の中心としての機能も果たしています。さいたま市の顔となる図書館を目指してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

さいたま市立中央図書館

所在地：さいたま市浦和区
東高砂町11-1
(コムナーレ8階)
電話：048-871-2100
FAX：048-884-5500

開館時間：平日 午前9時から午後9時まで
土日祝日 午前9時から午後6時まで
休館日：毎月第1・第3月曜日(祝日の場合は開館し、その翌日が休館)、年末年始、特別整理期間



さいたま市ゆかりの文学者と 描かれたさいたま(近現代編)



大宮公園と文人たち

■正岡子規 (1867-1902)

昭和24年秋に大宮公園を訪れ、公園内の旅館萬松楼に滞在した。この時は夏目漱石が松山から呼ばれて滞在中。「寒山落木」(明治31)は子規が大宮公園を訪れた時の俳句を収める。

■森 鷗外 (1862-1922)

島根県生まれ。「青年」(大正2)には主人公と親友の二人が大宮公園で人生論などを語り合う場面や、公園内の料理茶屋なども描かれている。

他にも、明治期には樋口一葉「創作断片」、正岡子規「墨汁一滴」「病床六尺」、永井荷風「野心」「歡樂」、国木田独步「第三者」、正宗白鳥「微光」が大宮公園を作品の中で表現している。また、大正時代には寺田寅彦「写生紀行」、田山花袋が随筆「東京の近郊 一日二日の旅」「東京近郊一日の行楽」などで称讃している。武蔵野の面影を求めて多くの文人たちが訪れた。



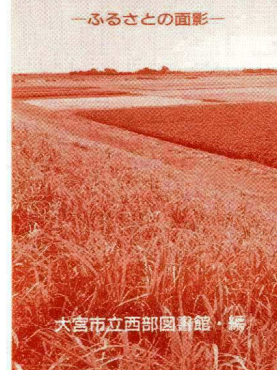
■大西民子 (1924-1994)

岩手県生まれ。昭和24年から40余年大宮に住む。岩槻にも数年住んだ。県立図書館に勤務しながら木俣修に師事して作歌を行う。「まぼろしの椅子」(昭和31)、「風水」(昭和57)などを出版。岩槻浄国寺境内に歌碑がある。

■森田公司 (1926-)

南中野生まれ。大正中・大宮北中・東中などに勤務しながら句作し、大宮北高時代に第一句集「寒雷」を出版。

大宮文学散歩



描かれた岩槻

■円地文子 (1905-1986)

「人形姉妹」(昭和46)に岩槻が描かれている。

■中町 信 (1935-)

岩槻市在住。「自動車教習所殺人事件」に岩槻公園付近が描かれている。

岩槻城址公園

■榎 浩志 (1924-)

中勸助の唯一の弟子。住まいは浦和。城址に岩槻人形を歌った詩碑がある。

浦和と児童文学

■石井桃子 (1907-)

常盤町に生まれた。浦和高等女学校(現・浦和第一女子高校)を卒業。ミルンの「くまのプーさん」、ポターの「ピーターラビットの絵本」シリーズなどの翻訳や、創作には「ノンちゃん雲に乗る」(昭和22)など。自伝的作品「幼ものがたり」(昭和56)では当時の生活を細やかに描いている。「岩波少年文庫」の編集や「東京子ども図書館」の創設などにも携わり、家庭文庫の活動家としても有名。

■瀬田貞二 (1916-1979)

トールキン著「指輪物語」の翻訳など、児童文学の翻訳・評論・創作で大きな業績を残した。日本の民話「かさじぞう」「ふるやのもり」も長く読みつがれ愛されている。浦和の自宅に「瀬田文庫」を開く。

■早船ちよ (1914-2005)

昭和19年に現在の川口市に疎開後、瀬ヶ崎に住んだ。映画化もされた「キューポラのある街」(昭和36)は有名。岩槻城跡に詩碑がある。

■佐藤紅緑 (1874-1949)

青春小説「あゝ玉杯に花うけて」(昭和3年)の中には師範学校(現・埼玉大学教育学部)の学生や、調神社、裏門通りなどが描かれている。

大宮と詩人

■宮澤章二 (1919-2005)

羽生に生まれ、昭和23年大宮に移住した。大宮市教育委員を2期8年務め、現代詩や童謡、合唱曲に力を注いだ。小学校の教科書に使用されたクリスマス・ソング「ジングル・ベル」は彼の歌詞に統一された。浦和駅西口に詩碑がある。

■大木 稔 (1913-1996)

戦後、大宮に転居し以後大宮市役所職員として退職まで勤務。大栄橋を素材にした「陸橋」など、大宮を詠んだ詩も多い。

■中村 稔 (1927-)

大宮に生まれ大宮北小学校に通った。作品に県内各地を描いた「故園逍遙」などがある。宮沢賢治の研究者としても有名。

■井伏鱒二 (1898-1993)

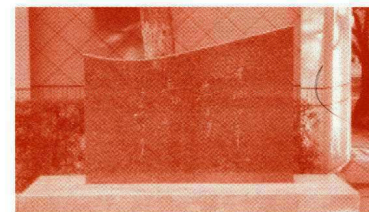
大成町の普門院の住職阿部道山和尚をモデルにした小説「普門院さん」(昭和22)がある。

■太宰 治 (1909-1948)

昭和23年5月に2週間ほど大門町に滞在し、時には氷川神社の参道を散歩しつつ「人間失格」を完成した。自殺前夜も大宮の地を訪れている。

■長谷川かな女 (1887-1969)

昭和3年以来浦和に居住し、昭和5年からは俳誌「水明」を創刊・主宰した。岸町などに住んだ。調神社と別所沼公園に句碑がある。現在、女性による俳句活動が盛んであるのは、かな女の功績によるところが大きい。



浦和を描いた作家たち

■水上 勉 (1919-2004)

戦後の一時期、白幡の土蔵に仮住まいし、処女作「フライパンの歌」を出版した。短編推理小説「崖」は岸町・白幡町が作品の舞台となっている。

■土岐雄三 (1907-1989)

昭和9年から浦和に住む。作品に浦和が出てくることが多く、ベストセラー小説「カミさんと私」(昭和33)をはじめ、「花嫁の父」(昭和41)や、「大きなお世話だ！」(昭和61)、自伝的な小説「カミさんと私」の物語(昭和61)などに浦和が登場する。

■澁澤龍彦 (1928-1987)

幼年期に川越市に住み、その後北浦和に下宿して旧制浦和高校を卒業。当時の思い出を「玩具物語」(昭和54)や「狐のだんぶくろ」(昭和58)に書いている。

与 野

■加藤克巳 (1915-)

歌人。昭和4年浦和中学校に転入学。その年から与野に住む。第一歌集「螺旋階段」。鈴谷東公園、普門院に歌碑がある。

■大西巨人 (1919-)

昭和31年より大宮・北浦和・上木崎・与野本町・円阿弥と転居し埼玉在住が長い。与野を描いた作品に「運命の賭け」の中のルポ「埼玉県と与野」、「巨人雑筆」の中の「遼東の家」「本町通り」などがある。「深淵」(平成16)では主人公が与野市から失踪する。

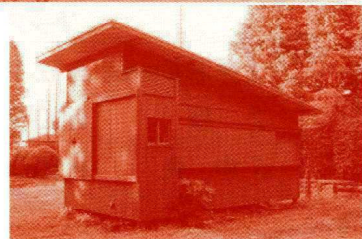
別所沼公園

■神保光太郎 (1905-1990)

昭和9年に別所沼近くに移り住み、以後没するまで50年余りをこの地で過ごした。沼畔に別所沼が題材となっている「冬日断抄」の詩碑がある。他にも野田の鷺山を素材とした「鷺」など、郷土を表現した詩を多く残した。学校の校歌の作詞も多い。

■立原道造 (1914-1939)

神保の友人で詩人。湖畔に住みたいと、ヒアシンスハウスと名付けたコテージを設計したが、わずか24歳で夭折。ヒアシンスハウスは、平成16年に市民などにより建設された。



さいたま市にゆかりのある文学者はまだまだ大勢います。今回は近現代を中心に紹介しました。市内のあちこちに句碑や歌碑なども残されています。ゆかりの地を訪ねる文学散歩など楽しんでみてはいかがでしょうか。

<主な参考文献>

「大宮文学散歩」	大宮市立西部図書館編	大宮市教育委員会	1991
「埼玉の文学」		さいたま文学館	1997
「企画展大宮公園と文学者たち」		さいたま文学館	1999
「企画展近代埼玉の女性文学」		さいたま文学館	1999
「企画展ヒアシンスハウスに夢を託して」		さいたま文学館	2005
「さきたまの文人たち」	松本鶴雄著	さきたま出版会	1997
「埼玉の文学めぐり」		関田史郎著 富士出版	1972
「埼玉の文学—その作品と風土」		秋谷豊編 さきたま出版会	1979
「新埼玉文学散歩 下」		榎本了著 まつやま書房	1991
「埼玉現代文学事典 増補改訂版」		埼玉県高等学校国語科教育研究会	1999

●としょかん探偵事務所●

さて、今回は…

「さいたま市図書館 いろいろランキングトップ3」



さいたま市に**22**館もある図書館。
大きさも資料の取り揃えもいろいろです。
だからランキング形式で特色をご紹介します。

2007.10.22現在

開架の資料冊数 トップ3



1	中央 図書館	約 25 万冊
2	東浦和	約 21 万冊
3	南浦和	約 15 万冊



図書館の広さ トップ3



1	中央 図書館	5,820m ²
2	大 宮	3,521m ²
3	大宮西部	3,512m ²

新聞のタイトル数 トップ3



1	中央 図書館	93 紙
2	北浦和	33 紙
	桜 木	33 紙

雑誌のタイトル数 トップ3



1	中央 図書館	818 誌
2	東浦和	242 誌
3	大 宮	221 誌

貸出用CDの所蔵数 トップ3



1	東浦和図書館	約12,100点
2	桜	約10,500点
3	中央	約10,000点

貸出用ビデオの所蔵数 トップ3



1	東浦和図書館	約6,600点
2	南浦和	約3,500点
3	北浦和	約3,000点

貸出用DVDの所蔵数 トップ3



1	桜 図書館	約2,520点
2	片 柳	約830点
3	—	—

ちょっと
足を
のばして…

鉄道博物館

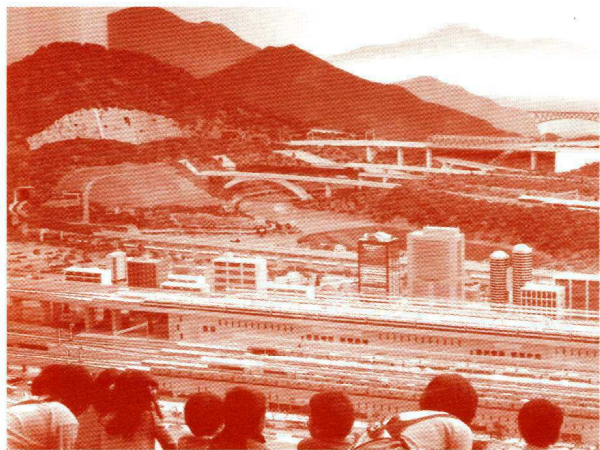
～THE RAILWAY MUSEUM～

類縁機関紹介 第5回

——2007年10月14日、「鉄道のまち」さいたまに、日本の鉄道の歴史と文化を乗せた博物館がやって来ました。

歴史ゾーン・ラーニングゾーン・エントランスゾーン・パークゾーン・コレクションゾーン・ノースウイングの6つのゾーンに、36両の実物車両や国内最大級の模型鉄道ジオラマといった見学コーナー、運転シミュレータやミニ運転列車などの体験コーナーが数多く設けられ、学習からレジャーまで利用の仕方は十人十色。

年代的にも、日本の鉄道の黎明期から現代に至るまでの資料が幅広く取り揃えられていますから、世代を問わず、素敵な思い出を呼び起こしてくれるスポットがきっと見つかることでしょう。



大人気の「模型鉄道ジオラマ」列車・景色とも実にリアル！

★歴史ゾーン

日本初の鉄道「150形式蒸気機関車」から東海道新幹線「0系」や東北・上越新幹線「200系」までが年代ごとに展示され、その多くは実際に座ってみることができます。車両だけではなく、通勤時間帯の御茶ノ水駅や、地方都市へ向かう優等列車の始発駅として賑わった上野駅、特急列車ヘッドマーク取替え作業の様子などの「情景再現」で、まるでタイムスリップしたかのような懐かしさに浸ることができます。

皇族の御巡幸に使用される御料車や国鉄時代の貨物車などの珍しい車両も展示してあります。

「運転シミュレータ」気分は既に運転士。



★運転シミュレータ

山手線・京浜東北線・東海道線・200系新幹線、そして日本初のSLシミュレータ「D51」の5台。実際に運転士の訓練用に使われていたものなど、抜群のリアルさでファンを魅了します。とくにD51はSL特有の振動まで忠実に再現され、迫力満点です。

★ミニ運転列車

「実際に列車を動かしてみたい」という方にはこちらがお勧め。線路上を、可愛いミニチュアに乗って走行することができます。



〒330-0852 さいたま市大宮区大成町3丁目47番

☎048-651-0088(代表)

<http://www.railway-museum.jp/>

開館時間 10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 毎週火曜日および年末年始(12月29日～1月2日)
*2007年12月28日までは無休

入館料 [個人]一般1,000円・小中高生500円・幼児200円
[団体]一般 800円・小中高生400円・幼児100円

*一部のコーナーでは別途料金が必要です。

・運転シミュレータ「D51」500円・ミニ運転列車200円

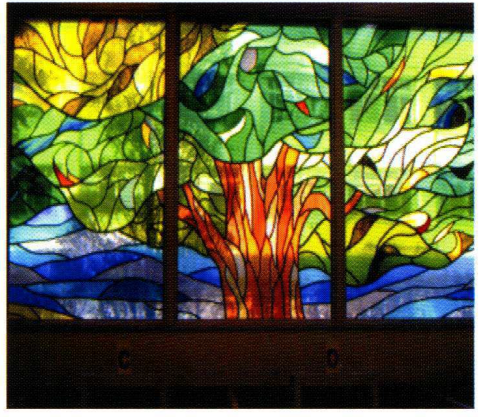
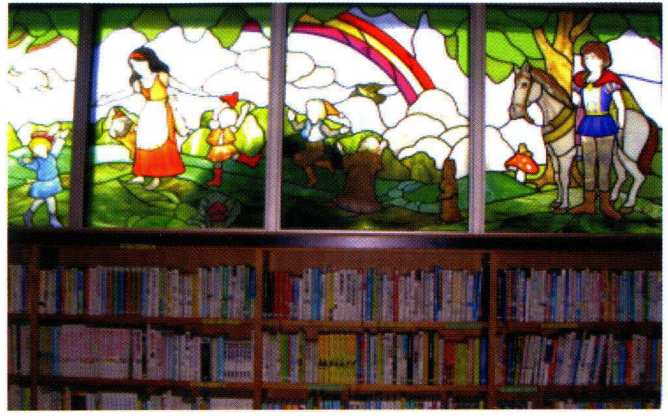
*会員組織「Teppa倶楽部」に加入すれば、年間フリーパスとなります。詳しくは下記をご覧ください。

<http://www.teppa-club.jp/>

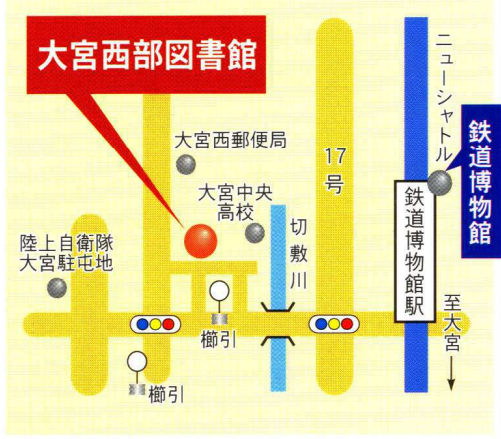
第2回 **大宮西部図書館**

こども室の窓は、童話「白雪姫」などをモチーフにした、縦約1.1m・横約6.1mのステンドグラスで飾られています。季節や時間によって、様々に変化し違った表情を見せてくれます。安らぎを感じさせる温かい光が、こどもに夢を与えるスペースの演出に一役買っています。

AVコーナーには、県の木「ケヤキ」をモチーフにしたステンドグラスもあります。



大宮西部図書館はニューシャトル「鉄道博物館(大成)」駅から徒歩約10分。駅前に誕生した鉄道博物館を記念して、鉄道に関する資料を集めたコーナーを新たに設置しました。鉄道博物館へお越しの際はぜひ、大宮西部図書館の「鉄道コーナー」にも足をお運びください。



図書館入門
障害のある方へのサービス

さいたま市図書館では、図書館を利用する上で障害がある方のためにさまざまなサービスを行っています。

♥ **視覚に障害がある方のために**
さいたま市に在住・在勤・在学の視覚障害者の方に対面朗読・郵送貸出を行っています。

・対面朗読サービス
本や雑誌など、ご希望のものを図書館で朗読します。あらかじめ電話・郵便などでお申し込みください。
中央・大宮西部・大宮・与野・桜・北浦和・東浦和・岩槻の各図書館で実施しています。

・郵送貸出サービス
CD、カセットテープなどの録音資料、デイジー図書(障害者用CD型録音図書)、点字図書などを中央図書館からご自宅に無料で郵送されます。10タイトルまで3週間借りられます。

♥ **図書館の利用に障害のある方のために**
FAXやメールでのお問い合わせやご相談をお受けしています。筆談ボード、車椅子などをご用意している館もあります。くわしくは中央図書館、またはお近くの図書館へお問い合わせください。

編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館
<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/>

北浦和図書館 832-2331	大宮西部図書館 664-4946	片柳図書館 682-1222
南浦和図書館 862-8568	大宮西部図書館三橋分館 625-4319	与野図書館 853-7816
東浦和図書館 875-9977	宮原図書館 662-5401	与野図書館西分館 854-8636
桜図書館 858-9090	馬宮図書館 625-8831	与野南図書館 855-3735
桜図書館大久保東分館 853-7100	春野図書館 687-8301	岩槻図書館 757-2523
大宮図書館 643-3701	大宮東図書館 688-1434	岩槻駅東口図書館 758-3200
桜木図書館 649-5871	七里図書館 682-3248	岩槻東部図書館 756-6665

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集委員より★★ 買い物や映画鑑賞のついでにも便利な中央図書館、もう足を運ばれましたか?中央図書館を中心に、これからも進化し続けるさいたま市図書館を、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。